

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	伊万里市立大坪小学校
1 前年度 評価結果の概要	・2か年の活用力向上研究指定事業の成果として、「思考力・判断力・表現力」を伸ばす取組が更に一步深まった。また、市の漢字検定では94%の合格率。引き続き、児童の興味関心を高めながら、「わかる喜び」と「自分の成長」を感じ取れるような授業の創造に尽力する。 ・特別な支援が必要な児童については、教育相談担当や特別支援コーディネーターが中心となり、外部機関とも連携して、情報共有と組織的な対応を行うことができた。引き続き、多角的に児童を捉え、様々な選択肢から支援を行えるよう連携をとってきたい。
2 学校教育目標	「互いに認め合い、支え合う学校にしよう ～ 自己肯定感を高める教育を通して～」 ◎めざす教師像 「深い教育愛に満ち、確かな指導力のある教師 ～ 支え合い、高め合う集団づくり～ ※子ども一人一人の特性に応じて…。」 ◎めざす学校像 「いきいき学び 伸び合う学校 ～ 当り前の事を、当り前に～ ※自分の将来に希望を持って…。」
3 本年度の重点目標	①「授業づくりのステップ1・2・3」「西部型授業」をもとにした授業スタイルについて研修を行い、授業の手立てとして学校全体での共通取組を検討する。特に、読解力、表現力の向上を図る具体的な手立てを構築する。(学習過程、書く活動の充実など) ②児童同士が良さを互いに自覚し合える学級集団づくりを行い、児童の学級への所属意識を高める。併せて、教育相談機能の充実により、児童、保護者の学校教育への不安感の払拭を図る。 ③新型コロナウイルス感染予防のため、衛生週間の定着を図るとともに、学習形態の工夫、指導内容の重点化、学校行事の見直しを適宜行い、教育課程履修に遺漏のないように努める。

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価		主な担当者		
(1) 共通評価項目				中間評価				
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗状況と見通し	実施結果		評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイルランの成果指標を達成した教師90%以上。	・全教科で自分の考えを書く活動を取り入れる。国語科・算数科において「思考力テスト」を継続する。国語科では「条件に合わせて書くこと」等の書き方について、算数科では「図表・式・言葉に関連づけた説明」の書き方について、指導する。	・	・	・	・	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任、副主任
	○授業と家庭学習とのつながり	○毎日の家庭学習時間を確保させる。 ○「家勉」を推進する。 ○家庭学習調査を実施し、安定して家庭学習に取り組む児童を80%以上にする。	・家庭学習調査の結果を個別指導に生かす。また、保護者と連携し、安定して家庭学習ができる環境をつくっていく。 ・「家勉」を奨励し、自主学習の習慣を定着させる。	・	・	・	・	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任、副主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●体験活動を生かした心に響く道徳教育の充実を図る。	・「いのちの教育指導資料」や「伊万里つ子しぐさ」、「童謡歌集」を生かした授業を全校で実践し、ボランティア活動や心を育む「家読」を充実させる。 ・全校で同じテーマの人權教室を各学年ごとに実施する。	・	・	・	・	・道徳推進教員
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上。	・毎月「心のアンケート」を実施し、早期発見に努める。 ・保護者、担任、生徒指導主任、教育相談担当、級外などの連携を密に、組織としての支援を充実させる。 ・学校いじめ対策委員会において、支援の具体的な方法について話し合う。	・	・	・	・	・管理職 ・人權・同和教育担当 ・教育相談
	○志を高める教育	○夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進。	○夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進。	・学校行事(体育大会や修学旅行等)や対外行事(相撲大会や陸上運動大会等)、発表会(伊万里秋祭りや公民館祭り等)などを通じて、個人で目標をもたせ、それをバックアップすることで成功体験を積みませる。	・	・	・	・
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・毎月20日の安全点検と、学期ごとに通学路の安全点検を実施する。 ・通学路については、保護者や地域の方にも危険箇所の確認をお願いし、危険箇所マップの改訂を行う。	・	・	・	・	・生徒指導主任
	○衛生習慣の定着	○新型コロナウイルス感染予防策を徹底する。	・適宜手洗いやうがいを行えるように習慣化を図る。 ・マスク着用、ソーシャルディスタンスの徹底を図る。	・	・	・	・	・養護教諭 ・保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日、学校閉庁日を設定する。 ・主任業務の分散化や複数担当化を図り、業務の平準化を推進する。	・	・	・	・	・管理職
	○業務改善プロジェクトの実施	○勤務体制の検討を行い、業務の明確化を図る。 ○具体的な改善策を実行し、業務の効率化を図る。	・業務改善案を計画し、職員に提案する。 ・職員研修で日常業務の在り方や、業務改善の取組について話し合う。 ・仕事の可視化と業務の省力化に取り組む。	・	・	・	・	・管理職
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗状況と見通し	実施結果	評価	意見や提言	
○教育相談の充実	○教育相談に係る組織の活性化(他機関との連携)及び、支援会議の充実による具体的な支援策の構築	○保護者面談の他、医師、カウンセラー、スクールソーシャルワーカー、保健師、民生委員等関係機関との連携に努める。	・教育相談に係る担当者の連携を図り、支援会議の内滑な運営を図る。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部機関の効果的な活用など、教育相談機能の充実を図る。	・	・	・	・	
○特別支援教育の推進	○児童の実態に即した具体的な支援の内容・方法の策定	○児童の実態に即した具体的な支援を行い、よりよい学校生活への適応を図る。	・学校全体の支援体制を整備する。 ・児童の実態を把握し、ケース会議等での対応について協議・共通理解をする。 ・校内支援委員会の定例開催により、児童の現状を確認し、支援の方法を考え実践する。	・	・	・	・	・特別支援教育コーディネーター
○「ふるさと学習」の充実	○地域の良さを体感できる学習の充実	○校区内や周辺に存在する社会教育施設や優れた教育資源を活用し、大坪町を誇りに思う児童の割合を前年度より高める。	・図書館を使った「調べ学習コンクール」へ積極的に参加する。 ・地域の祭りや伝統、地域の偉人からの学び、鼓笛隊などの活動を充実させる。 ・地域への関心を高める、魅力ある事業を企画する。	・	・	・	・	・学年主任 ・教務主任
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育								
5 総合評価・次年度への展望	・							